

研究通信

No. 29

1950年9月刊
村落社会研究会
事務局

豊橋市町畑町

愛知大学
社会学研究室内

第六回年次大会

- 期 日……十月七日・八日（六日夕刻参集九日朝解散）
- 場 所……宮城県玉造郡鳴子町鳴子温泉「農民の家」
- 共同課題……「村落共同体」
- プログラム……十頁に掲載

会員各位が待望される本年度大会はいよいよ来月七、八両日、宮城県鳴子温泉で開催されることになりました。回を重ねること六回目、ようやく形式化される兆候が見えはじめた秋、宿泊大会を企画したことはまことに意義ぶかいものがあります。

今回の企画は、前号でのべましたように、会員各位の御意見を基礎に、拡大委員会の慎重な検討を経て決定されたものであります。プログラムの編成において、同委員会記事にありますように、報告者を公募しながら、希望者多数のため、自由課題のすべてと共同課題についてさえ幾人かの方に御遠慮頂かなければならぬと存じましたことは、時間の制約とはいえ深くおわび申上げたいと存じます。また期日や経費の関係で御出席が困難な方も決してすくなくないことと存じます。しかしながら、私達は充足当時にみられたあの心あたたまる同志的結合を再現し、本研究会の質的発展を期するため、すべての障害を乗り越えて、本大会を成功に導かなければなりません。会員の御支持を心からお願ひするともに、どうか多数の会員が参集され、熱烈に御発言されることを期待いたします。